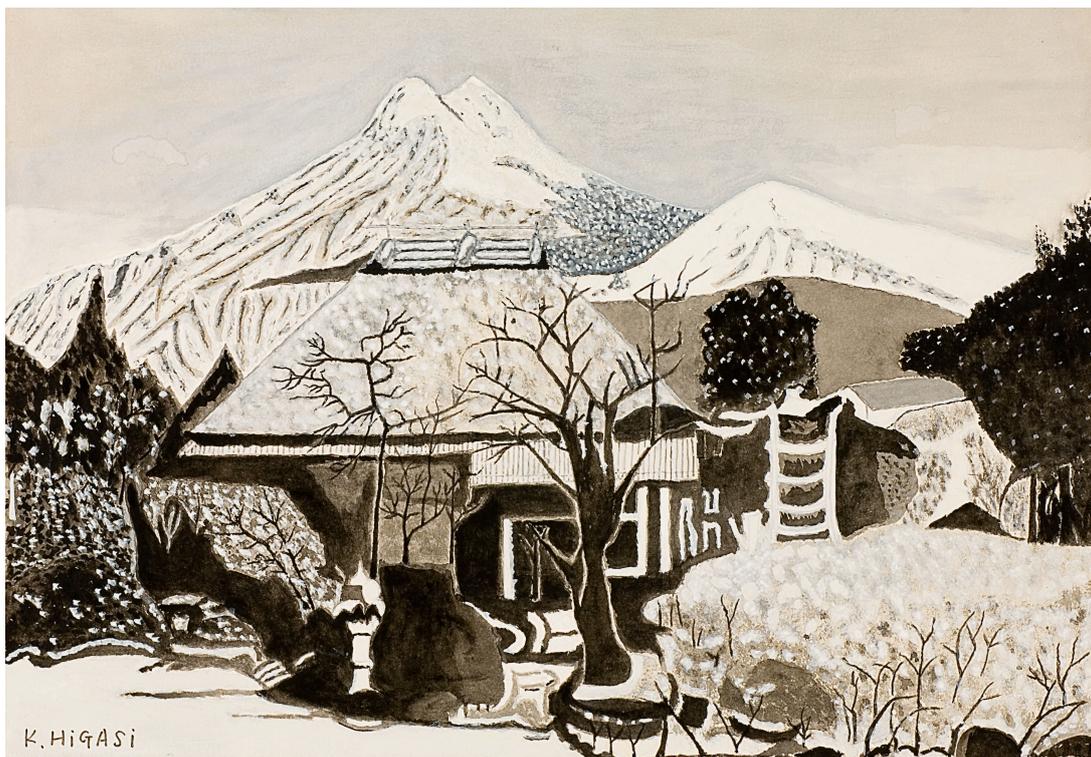


県内で長く木こりとして働いたあと、湯布院町内の老人ホーム「温水園」で暮らしていた東勝吉（ひがし・かつきち）さんは、83歳から本格的に絵筆を握り、99歳で亡くなるまでの16年間、里山の風景などを水彩画で描くことに没頭しました。素朴でありながら個性的なタッチで描かれている彼の作品は、多くのひとに感銘を与え続け、没後14年経った



2021年には、東京都美術館で「Walls & Bridges 世界にふれる、世界を生きる」、昨年2024年には、熊本市現代美術館で「ライフ2 すべては君の未来」、岡山県北部の地域において開催された国際芸術祭「森の芸術祭 晴れの国・岡山」などで展示されました。

そして、この度、**由布院駅アートホールで展覧会「旅する東勝吉 里帰り展」、関連イベントとしてギャラリートーク「東勝吉作品を語る夕べ2」**を開催します。

由布市にお住まいの皆さま、ぜひ、ご来場ください。

## 旅する東勝吉 里帰り展

会 期 | 2025年1月30日(木) - 2月28日(金)

9:00 から 18:00まで 最終日のみ16:00まで

会 場 | 由布院駅アートホール (湯布院町川北8-2)

入 場 | 無 料

### 関連イベント 「東勝吉作品を語る夕べ2」

昨年、熊本市現代美術館で開催された「ライフ2 すべては君の未来」の担当学芸員・坂本顕子さんをお招きして東勝吉作品についてお話しいたします。

日 時 | 2025年2月14日 (金) 18:00から

会 場 | 由布院駅アートホール

参 加 | 無料 / 予約不要